

2014年2月20日

京都府知事 山田啓二 殿

## 抗議申し入れ書

京都府京丹後市に設置が計画されている米軍Xバンドレーダー基地に関して、私たちはこれまで3度にわたって計1万3309筆の反対署名を京都府に対して提出し、その設置計画に反対する京都府民としての意志を示してきた。しかし、貴職は2013年9月19日に「協力表明」をするに至り、以降この問題に関する府民の「安全・安心」への懸念について、また府民の「知る権利」に対して、真摯で積極的な対応をしてきていない。

この米軍Xバンドレーダー基地建設は、東アジアの軍事緊張を高め、京丹後市および京都府北部の軍事強化および軍事攻撃の標的となる可能性をつくりだし、周辺の自然景観や生態系を破壊し、また、府民が米軍人・軍属による犯罪や事故の被害者となる可能性をもたらすものである。それゆえ、私たちはこの京都府京丹後市での米軍Xバンドレーダー基地設置計画に断固反対し、貴職に対して「協力表明」の撤回をあらためて強く求めるものである。

これに関連し、私たちは京都府民全体を対象にした「府民説明会」の開催を貴職に対して強く要求する。この新たな米軍基地建設の影響は、基地設置予定地の周辺や京丹後市内のみにとどまらず、京都府全域および関西一円にも及ぶものである。しかしながら、京都府による府民に対する情報提供の努力はあまりにも不十分であり、それゆえ設置計画が最初に公表されてから約一年が経つ今日においてさえ、多くの府民がこの問題を知りえていない。これまでも私たちを含むさまざまな府民および諸団体が、京都府民全体を対象にした住民説明会の開催を繰り返し求めてきた。しかし、貴職はこれまでこれにまったく答えようとしてこなかった。あまりにも不誠実であり、府民の「知る権利」の侵害である。私たちは貴職に対して京都府民全体を対象にした「府民説明会」の開催をあらためて要求する。

貴職はまた、在日米軍および防衛省に対して、この新たな米軍基地建設計画に関する情報を積極的に公開するよう求め、これを府民に知らせるべきである。近畿中部防衛局によれば、基地建設予定地にどのような建造物が設置されるかは今年1月下旬の時点でも日本側には知らされていないとのことである。そうであるならば、貴職はそこに何が建てられるのか具体的に把握することもなく、「協力表明」をしたことになる。あまりにもでたらめであり、そのような態度では府民の暮らしと「安全・安心」は到底守ることはできない。

さらにまた、貴職は在日米軍および防衛省に対して、事前の環境影響評価の実施を強く要求するべきであり、その結果が公開されるまでは工事着工など基地建設に向けたいかなる動きも中断すべきことを強く申し入れるべきである。また、それまでは貴職の「協力表明」は少なくとも凍結されるべきである。加えて、京都府としてXバンドレーダー設置による周辺住民の暮らし、自然環境と生態系への影響、さらには京都府下全域にもたらしうる影響について、今からでも独自の調査を実施しなければならない。

同時に、貴職は米軍基地建設予定地とされる地元自治体の首長として、在日米軍および日本政府に対して、日米地位協定の抜本改定を強く働きかけていくべきである。周知のように、在日米軍に特権的な地位を与えている日米地位協定は、繰り返される米軍・軍属による犯罪・事故の温床になっている。この問題に関して、貴職が在日米軍および日本政府に対する働きかけを強め、第一級の課題として継続的に努力していくことを私たちは要求する。

以上を踏まえ、私たちは貴職に対してあらためて次のことを申し入れる。

- 一、京都府京丹後市における米軍Xバンドレーダー基地建設への「協力表明」を撤回すること
- 一、この問題に関する京都府民全体を対象にした「府民説明会」を開催すること
- 一、在日米軍および防衛省に対して事前の環境影響評価とその実施を強く要求し、その結果を公表させること
- 一、周辺住民の生活と自然環境と生態系への影響、基地建設が京都府下全域にもたらしうる影響について、京都府として独自の調査を実施すること
- 一、日米地位協定の抜本改定を在日米軍および日本政府に強く要求していくこと

米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会

共同代表 大湾宗則 上岡修 白井美喜子 木原壯林 瀧川順朗 仲尾宏

連絡先 075-467-4437 kyogamisaki2013@yahoo.co.jp